

Information イベントカレンダー

◆ 柳瀬川をぶらり散歩 (ネイチャーウォーク)

- 日時：10月7日(日) 9:00~16:00 (雨天中止)
- 集合場所：東武東上線・柳瀬川駅前サミット前広場
- 内容：東武東上線の柳瀬川レンガ橋脚を起点に、現在開発問題がおきている淵の森まで、自然観察や水質を調べたり河川改修の様子を見ながら散策します。
- 経路(予定)：東上線の柳瀬川レンガ橋脚
→ 東京都下水道局清瀬水再生センター(清瀬)
→ 東川合流点(所沢)
→ 柳瀬川金山調節池/金山緑地公園(清瀬)
→ 空堀川合流点(清瀬)
→ 淵の森(所沢) → JR 武蔵野線・新秋津駅
- 持ち物：お弁当、水筒、双眼鏡、季節の対策、あれば野草・野鳥図鑑
- 費用：200円(会員100円/中学生以下は無料)
※家族参加者は家族全員で1名扱い
- 主催：NPO法人 エコシティ志木
(財)埼玉県生態系保護協会 志木支部
- お問い合わせ：eco-shiki@ff.e-mansion.com
(エコシティ志木)

◆ 秋の荒川クリーンエイド2007

「秩父から東京湾まで つなげよう 広げよう 荒川クリーンエイド」
今年で14年目を迎える荒川クリーンエイドでは、毎年約1万人が参加して、荒川とその支流のゴミを拾いながら調査をしています。今年も新河岸川流域では以下3箇所で開催されます。身近な水辺でゴミを拾いながら、ゴミや水質、自然回復など流域のよりよい環境を共に考えていきたいと思います。

- ◆ 黒目川下流
日時：10月14日(日) 10:00~12:00 (雨天中止)
場所：黒目川 浜崎黒目橋(リサイクルプラザ先)(朝霞市)
交通：東武東上線 朝霞台駅/JR武蔵野線 北朝霞駅
お問い合わせ：048-466-0916 (黒目川に親しむ会・藤井)
- ◆ 不老川
日時：10月21日(日) 9:00~16:00 (雨天中止)
場所：不老川 新入管橋(狭山市)
交通：西武新宿線 入管駅(集合場所：入管公民館(入管駅前))
※さつまいも掘りも行います。参加費500円です。
お問い合わせ：04-2958-5280 (不老川流域川づくり市民の会・遠藤)
- ◆ 黒目川上流
日時：10月28日(日) 10:00~12:00 (小雨実施)
場所：黒目川 都立久留米総合高校上流~上落馬橋左岸(東久留米市)
交通：清瀬駅南口より西武バスに乗り、久留米高校バス停下車徒歩すぐ。東久留米駅より徒歩20分、清瀬駅より徒歩15分
お問い合わせ：042-472-0882 (黒目川流域川づくり懇談会・菅谷)

◆ 第11回 越戸川まつり 和光新発見ウォーキング・川遊び

- 日時：10月27日(土) 9:00開会 (雨天中止)
- 場所：越戸川赤池親水公園
- 内容：ボート・イカダ乗り、ジャブジャブ川魚釣り、無料さつまいも掘り、和光高等学校吹奏楽部演奏、越戸川の魚展示、さつまいも蒸かし、模擬店ほか、彩の国ふるさと川の再生地域会議開催

和光市名所巡りスタンプラリー

- ①和光市駅北口(8:00スタート)→
- ②新倉ふるさと民家園 → ③漆台お不動様湧水池 →
- ④柿木坂湧水公園 → ⑤越戸川上谷津公園 →
- ⑥新倉ふれあいの森 → 会場ゴール9:00
- ※各ポイントで係員が案内します。

【さつまいも掘りと魚釣り】 ※事前申し込み制(10月15日〆切)
費用：100円(保険代他)
定員：さつまいも掘り 先着200名(1人3株)
魚釣り 先着80名
予約申し込み：FAXまたはハガキに、住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、「芋掘り」又は「魚釣り」希望と明記し、下記申し込み先に送付。
申し込み先：和光市役所環境課
〒351-0192 和光市広沢1-5
FAX: 048-464-1192
または
和光新聞社
〒351-0111 和光市下新倉3-23-3
FAX: 048-201-6111

- 主催：和光自然環境を守る会
- 共催：埼玉県環境部
- 後援：和光市
- 協力：埼玉県朝霞県土整備事務所
- お問い合わせ：048-201-3111 (和光新聞社)

◆ 黒目川・秋の川まつり 2007

- 日時：11月18日(日) 11:00~14:00 (雨天中止)
- 場所：埼玉県朝霞県土整備事務所 駐車場(産業文化センターとなり)
- 内容：黒目川の自然体験、パネル展示、バンド演奏、模擬店など
- 主催：埼玉県朝霞県土整備事務所
- お問い合わせ：埼玉県朝霞県土整備事務所
朝霞市浜崎678番地
TEL 048-471-4661
担当 技術管理担当

事務局便り

川づくり連絡会に参加してみませんか?



原則第2火曜日に新河岸川流域川づくり連絡会を開催しています。参加希望の方は、右記事務局までお問い合わせください。(開催場所はお問い合わせ時にお知らせします。)

しんぶん「里川」掲載情報を大募集します!

各流域や地域での活動報告やイベント情報を募集しています。身近な情報などをお手紙または FAX・メールにて事務局までお寄せ下さい。

■ 連絡先

〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1
新河岸川流域川づくり連絡会 事務局
(国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 調査課内)
TEL 03-3902-3220 FAX 03-3902-2346
URL <http://www.ara.go.jp/arage/shingashi/>
E-mail shingashi@ara.go.jp

THE SHINGASHI BASIN NEWS 新河岸川流域しんぶん



VOL. 48

発行 ● 新河岸川流域川づくり連絡会 (荒川下流河川事務所 調査課内)
住所 ● 東京都北区志茂5-41-1 TEL03-3902-3220 FAX03-3902-2346
発行日 ● 2007年(平成19年)9月28日



切り絵 毛利将範

目次

- P2-3 特集：川づくり見学会・交流会
- P4 特集：川まつりリレーフェスティバル
- P5 レポート：イベント・活動紹介
- P6 特別ページ：フォーラム開催のお知らせ
- P7 行政からのお知らせ
- P8 流域イベント・インフォメーション

猛暑日の続いた夏も過ぎ、周りの景色も徐々に衣替えを始める季節となりました。日々猛暑に苦しめられたせいか、最近外に出てもすごしやすく感じるようになりました。このような気候の中、ウォーキングを考えている方がいたら、10月20日(土)に志木市で開催されます新河岸川流域フォーラムにご参加ください。フォーラムでは午前中にウォーキング、午後に流域内で取り組まれている治水対策や皆さんと一緒に治水について考える企画を予定しております。

また今回の里川では、前号に引き続き不老川や黒目川の川まつりレポートや、流域を飛び出して見学した、「第13回川づくり見学会・交流会」開催報告の記事も掲載しております。

* 黒目川（朝霞市） *



日時：8月26日（日）10：00～14：00
 場所：新高橋下流左岸の河原（溝沼郵便局横）
 内容：10：00 ゴミ拾い・分別
 10：45 開会式
 10：55 水質調査・魚類調査・水ガキ講座（魚とり、ザリガニ釣り）
 11：55 さかな教室
 12：10 昼休み
 13：00 舟あそび（ボート、カヌー）、スイカ割り
 14：00 終了

主催：黒目川まつり実行委員会
 参加団体：みちくさ、朝霞に桜の名所をつくる会、NPO法人 朝霞市つばさ会、黒目川に親しむ会、黒目川流域川づくり懇談会、黒目川の景観を考える会、生活クラブ生協朝霞支部
 後援：朝霞市、朝霞市教育委員会
 協力：埼玉県朝霞市整備事務所、国土交通省荒川下流河川事務所



夏休み最後の日曜日、降り注ぐ太陽の下で「第12回黒目川まつり」が開催され、朝から多くの親子連れが集まりました。まず川のゴミ拾いです。軍手、ビニール袋、タオルは、埼玉県朝霞市整備事務所から提供されました。子供たちは、陶器のかけらや大きなプラスチック片など一生懸命に拾っていました。聞くところによれば、ゴミの量は年々少なくなっているとのこと。

川をきれいにした後、開会式が行われました。そして、待ちに待った川あそびです。この日は、子供のひざ下程度の水位で、魚とりにうってつけて。子供たちは網で魚をとり、とった魚を水槽に入れてみんなで観察しました。

昼休みには、埼玉南部漁業協同組合より伝統的投網のデモンストレーションが行われました。スタッフの小林さんのお話では、漁業協同組合の協力は今年からで、新しい輪が広がってきたとのこと。川まつりが地域に確実に根付いている様子がうかがわれました。

午後は、毎年人気の舟あそび。船着場は舟を待つ子供たちで

今日の黒目川

【水質】
 ・NH₄-N 0.2ppm ・PH 7.5
 ・NO₂-N 0.1ppm
 ・COD 4ppm ・透視度 113cm

【さかな】
 アユ、ボラ、ウグイ、カマツカ、オイカワ、アマチチブ、ウキゴリ、クロメダカ、モツゴ

【水生生物】
 スジエビ、モクスガニ、ベンケイガニ、トウキョウダルマガエル



拾ったゴミは自ら分別します 淵では泳げちゃうよ



スイカはここかな？えいっ！ 下流に向かってレッツゴー！

長蛇の列ができていました。“いざボートに”。しかし、小さな子供には一苦勞です。すると手助けする男の子の手が…。自然に助け合う姿がとても印象的でした。「川まつりをきっかけにして普段から川で遊ぶ子供が多くなって、とても嬉しいです」と、スタッフの藤井さん。

最後はスイカ割り。恐る恐る足を踏み出す子供たちへ、「もう一歩左！」とエールを送るお父さんとお母さん。みんな夢中でした。

今年の川まつりも大盛況でした。

スタッフに聞く！

●朝霞市リサイクルプラザ企画運営協議会 副会長 渡辺 やよいさん

「川まつりで生活と密着した学びを」

ゴミ拾いの後に行う分別は、朝霞市の分別方法を参加者全員が学ぶ場でもありません。また、川にあるゴミの現状を目の当たりにすると、川を汚したくないという気持ちが自然と湧いてくるようになります。これは、川まつり開催当初から一貫したねらいです。これを機に、市民の立場でゴミ問題について啓発できれば、と思います。

●「第12回黒目川まつり」実行委員長 森河 貞子さん

「川でつながるスタッフの輪」

「川は危険だから入ってはいけない」ではなく、実際に入ってみて危険度を理解してもらいたいと思っています。今年は夕立が少なかったため、当日までに川底の変化がほとんど無く、安全に川あそびができました。黒目川の上流で活動されているスタッフの方々と交流もあり、道具の融通などで協力体制を築いています。

* 不老川（入間市） *



日時：8月26日（日）10：00～15：00
 場所：大森調節池・不老川
 内容：10：00 あいさつ
 カヌー・ボート遊び、水鉄砲作り、水質くらべ、ザリガニ釣り、トンボ・バッタ釣り、子牛とあそび
 12：15 野外音楽会（さるお）
 13：00 魚とり
 16：00 終了

主催：不老川流域川づくり市民の会、大森の池まつり実行委員会、大森調節池の自然を守る会



今年で8回目となる「大森の池まつり」（不老川）が去る8月26日に開催されました。数日間の猛暑日となりましたが、夏休み最後の週末ともあって、多くの参加者でにぎわいました。

会場となった入間市の大森調節池では、10時になると本館前で開会式が行われました。木下 博 入間市長、大森の池まつり実行委員でもある新井 格 埼玉県議よりあいさつをいただき、また、実行委員長の相馬さんからは、この秋に調節池の池底を掘る工事が予定され、来年のおまつりではより広範囲でカヌーが楽しめるとの期待が語られました。

開会式がすむと、水鉄砲遊びや、虫とり、子牛に餌をやったりと、多彩に用意されたイベントで思い思いの遊びに興じる親子連れの姿が終日見られました。中でも人気が高かったのはカヌー遊びで、地元駿河台大学カヌー部の協力で11艇用意されたカヌーは順序待ちの人々で列を絶やすことはありませんでした。

お昼になると本館前では地元で音楽活動をする5人グループ「さるお」のライブ演奏が始まり、入間市を題材

スタッフに聞く！

●「大森の池まつり」実行委員長 相馬 和彦さん

「自然を楽しんで」

普段はフェンスに囲われている大森の池を知ってもらい、自然や生態を考えてもらおうとおまつりを始めました。以前は集客のため気球を揚げたりもしましたが、中止した現在もリピーターを多く集め、カヌーや川あそびは大人気です。豊富な湧水と自然豊かな調節池ですのでこれからも、地域の人たちが自然を楽しめる場になれば、と思います。

●「大森の池まつり」実行委員会 事務局長 清水 英弥さん

「みんなの協力で成功した池まつり」

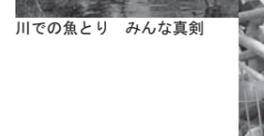
不老川は以前と比べると大変水質がよくまりました。きれいになった川と、水が湧き出す大森の池を多くの人に知ってもらいたいと思っています。調節池の草刈等の管理の一部を肩代わりしたり、地元の大学の先生に協力を得たりして、経費的な面を含めておまつりの成功につなげることができました。



川での魚とり みんな真剣



みんなもいっしょに歌おう



子牛さんいっぱい食べてね

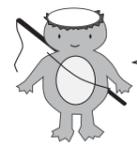
にしたオリジナルの曲や「手のひらを太陽に」などみんなが知っている曲を観客と一緒に歌い会場を盛り上げていました。

午後は調節池から少し離れた不老川まで移動して、魚とりをしました。スタッフの入念な注意と説明の後、自由に川に入り、大人も子供も一心不乱に網で川底を探っていました。今年は雨が少なく、川の流量も例年より少ないとの話でしたが、会場のあちこちでドジョウやザリガニを捕まえたとの歓声があがっていました。

子供たちの興奮ぶりもさることながら、大人たちやご年配の方たちも水辺の自然の中で童心に帰って楽しむことのできた一日でした。

REPORT

夏休み最後の週末 川あそびを振り返って



本レポートは黒目川に親しむ会の菅野さんより寄稿頂きました



網を持っていざ越戸川へ (写真提供：和光自然環境を守る会 赤松さん)

8月25日（土）は、和光自然環境を守る会が主催する越戸川赤池橋（和光市）でお魚とり教室がありました。子供たち60名と付添いのお父さんお母さん方が30名位、そして、ボランティア30名位が集まりました。

越戸川は一見とても綺麗に見えます。しかし、川の中のヘドロのついたカナダモを揺ると水が濁り、川底がみえなくなってしまいました。お魚とり教室の世話人さんは、「この辺りではアユがのぼって来ているけれど、5、6種類取れば上出来だよ。」とのこと。でも、プロと言われた私達としては、9個ある水槽がいっぱいになるようがんばりたいと思いながら、模範演技に取り組みました。

川の中はすすしく、まず1網目でウキゴリが入りました。ああよかった、とほっと一息。続けとばかりに、子供も大人も川に入りました。その直後でした。今度はナマズがとれたので、みんなに報告しました。あちこちから大歓声があがり、盛り上がりは最高潮に達しました。

アマチチブ、ウキゴリ、スミウキゴリ、メダカ、ドジョウ、セイゴ、モツゴ、ギンブナ、コイ、ウグイ、オイカワ、タモロコ、ナマズ、アユ、ボラ、ウシガエル、ウシガエルのおたまじゃくし、と全部で450匹位とれ、たくさんのお魚で水槽がいっぱいになりました。お魚の説明もみんな熱心に聞いていました。10年位前に赤池橋で調査したときは、タナゴやカマツカがいましたが、今回は見つかりませんでした。また当時は、アユは赤池橋までのぼっていなかったと記憶しています。



みんな模範演技に見入っています (写真提供：黒目川に親しむ会 菅野さん)

あともうひとつ、ちいさな子を連れた二人の若奥さんに「逃げ出さないでね。」と言って、網の中の大きなカエルを見せました。一人の奥さんは、子供をおいて川に入りそうになりながら逃げた見せましたが、後で水槽のカエルの腹の模様を、おそろおそろじーっと観察していました。聞くところ、生まれて初めて見たとのこと。ちょっと、いたずら過ぎたかな…！？。

最後に、とったお魚は、子供たちが、全部放流しました。毎回のことですが、「今度は捕まらないでね」、「元気だな」、「今回はアリガトウ」、「また来てね」、などと言いながら。



説明を聞くとお魚の生態がとてもよくわかります (写真提供：和光自然環境を守る会 赤松さん)

この日のお魚とり教室は大成功だったそうで



黒目川に親しむ会の魚とり名人 (写真提供：和光自然環境を守る会 赤松さん)

す。また、毎年恒例の越戸川の川まつりは、10月27日（土）に開催されます。翌26日（日）は、地元朝霞の黒目川川まつりでした。出店もヤキソバ、ヤキトリ、生ビール屋さん、氷屋さんが出揃い、みな大繁盛。多くのボランティアの

のお手伝いも戴いて、本当に助かりました。川まつりは、クリーンエイド、魚とり、水がき教室、ボート、カヌー、スイカ割り、漁協の投網、ザリガニ釣り等、イベントが盛りだくさんでした。

参加された市民の皆さんは、川まつりの遊びを通じ、自然の大切さを感じるとともに、昔の黒目川との違い、自然型の川が身近にある朝霞を知って楽しめましたか。そして、この日の水槽の中には、よく見かけるモクスガニとは違うカニがいました。朝霞では初めてのお目見えとなるベンケイガニです。また、とったクサガメは、いつの間にか行方不明…。前日の和光にはいなかった魚は、カマツカ、トウキョウダルマガエルでした。

さて、川まつりのイベントで行っている「ザリガニ釣り」では、例年と同様に釣竿を40本作りましたが、空き待ちが何人も出るくらい大人気でした。今年はもっと作ればよかったと思いましたが、実施にあたっては毎回悩んでいます。子供たちの人気を思うと深く考えさせられます。どうしても気になるのはアメリカザリガニが外来種だということです。1930年頃の移植来日で、もう80年近くも日本に住み着いているのだから、もういいかなと思いますが、どうもね…。次回どうするかは、来年の実行委員会で考えればいいですね。

この2日間は、過酷な暑さでした。和光、朝霞とも、けが人もなく済んだことに感謝します。最後になりましたが、皆さん、おつかれさまでした。

今は、アユの季節。都内はもちろん、関東一円から黒目川へ釣り人がやって来ます。それだけ黒目川がきれいになったという事です。でも、釣りをしている人より、見ているギャラリーが多いことがあります。そんな黒目川とともにある「黒目川に親しむ会」では、夏休み前の雨降りでも出来なかった総合的な学習を活動の場として、9月、10月も忙しく飛び回ります。

(レポート：菅野啓三・黒目川に親しむ会)



小さい子供に大人気、ザリガニ釣り



朝霞の黒目川まつり会場全景

新河岸川流域フォーラム 平成19年 10/20(土)

みんなの流域、みんなで治水！

■プログラム

第1部 ウォーキング

初秋の風に吹かれながら、志木市の新河岸川沿いを中心に、河川の歴史、水害に対する先人の知恵、現代の治水を体感しよう！

第2部 総合治水セミナー

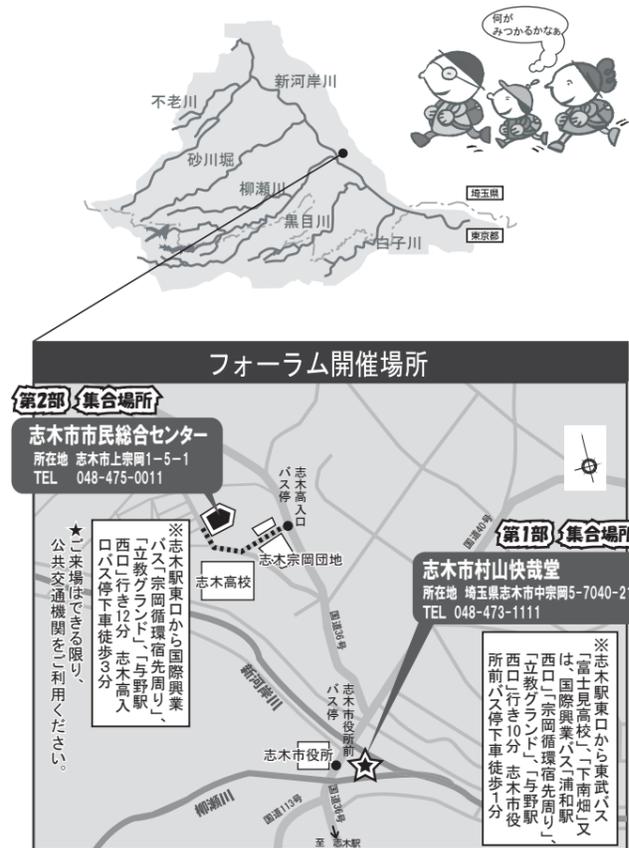
現在、新河岸川流域では多くの方が「川づくり」のために様々な努力をしています。『みんなの流域』で取り組まれている「川づくり」を知り、『みんなで治水』について考えてみませんか？

	時間	内容
	9:30~10:00 10:00	受付 開 会
第一部	10:00~12:00	ウォーキング ▼出発 村山快哉堂▼ ◎主な見学ポイント 郷土排水機場、新河岸川沿川の堤防、水田、水塚、新河岸川推移観測所、いろは樋の大枡、いろは樋の模型、味場排水機場、柳瀬川、新河岸川、新河岸川改修碑、野火止用水の鉄管、北美樋橋、大小合併門橋を予定 ▲志木市民総合センター▲
昼休み	12:00~13:00	昼 食
第二部	13:00~16:00	総合治水セミナー 特別講師：九州大学 島谷教授 講 師：埼玉県、東京都、志木市、西東京市、エコシティ志木 を予定
	16:00	閉 会

※雨天時には、ウォーキングが中止になることがあります。

新河岸川流域フォーラムは、総合治水対策を含めた健全な水循環形成の意義・重要性等について、広く一般の方に理解を深めてもらうことを目的に、川づくり活動への参画、行政と市民、市民団体間のコミュニケーションの活性化と連携を深めるため、開催しています。

- 日時：10月20日(土) 10:00~16:00(受付9:30~)
- 場所：第1部 志木市村山快哉堂
第2部 志木市民総合センター(下図参照)



参加希望の方は

- ・申込み方法：名前、職業/学校名、住所、電話番号を明記の上、FAX、メールでお申込ください。
- ・応募締切：10月12日(金) 事前申込制先着180名
- ・参加費：無料
- 【申込み先】日本工営株式会社 防災マネジメント室
FAX: 03-3238-8409
E-Mail: sogo-bosai@dx.n-koei.co.jp
※当日は昼食をご持参ください。

フォーラムに参加すると、新河岸川リレーフェスティバルのスタンプがもらえます！！

新河岸川流域フォーラムと各支川の川まつりに参加して、2つ以上のスタンプを集めた方には抽選で素敵な賞品を差し上げます！
10月31日、必着で郵送して下さい。当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

— 新河岸川流域フォーラム主催・共催団体 —

●新河岸川流域総合治水協議会

国土交通省関東地方整備局/埼玉県/東京都/所沢市/朝霞市/入間市/さいたま市/川越市/狭山市/志木市/新座市/富士見市/和光市/三芳町/ふじみ野市/板橋区/北区/練馬区/清瀬市/小平市/立川市/西東京市/東久留米市/東村山市/東大和市/武蔵蔵村山市/瑞穂町

●新河岸川流域川づくり連絡会

国土交通省荒川下流河川事務所/不老川流域川づくり市民の会/砂川堀流域川づくり懇談会/柳瀬川流域ネットワーク/黒目川流域川づくり懇談会/白子川と流域の水環境を良くする会

国土交通省からのお知らせ

○荒川知水資料館(amoa)ワークショップ

荒川知水資料館(amoa)では荒川に触れることができる機会として年間を通じて様々なワークショップを開催しています。

◆「荒川の歴史、整備に関する話」

- ・日時：11月3日(土) 第1回 10:00~11:30、第2回 13:00~14:30
- ・場所：荒川知水資料館(amoa)
- ・講師：荒川下流河川事務所 地域連携課
- ・内容：荒川の歴史、整備状況や環境などいろいろな視点からみた荒川について知ることが出来る講座です。
- ・対象：小学生以上(小学生は保護者同伴)
- ・募集人数：各回60名(定員に達し次第締切)
- ・費用：無料
- ・申込み：はがき・電話・メール・直接資料館受付のいずれかで、希望の回、参加者全員の住所・氏名・年齢・電話番号をご連絡ください。

【受付開始】10月13日(土)

◆「子どもをモデルにした荒川で撮る親子写真教室~僕も私も可愛いモデル~」

- ・日時：11月11日(日) 10:00~15:30 (受付9:30~、雨天中止)
- ・場所：荒川知水資料館(amoa)で受付 荒川知水資料館および荒川周辺の水辺
- ・講師：あらかわ学会 写真委員会
- ・内容：荒川の自然にふれあいながら親子で参加する初心者向けの写真教室
- ・対象：小学生以上(必ず保護者同伴)
- ・募集人数：20組(定員に達し次第締切)
- ・費用：無料
- ・持ち物：デジタルカメラ、昼食、飲料水、帽子。
※土手・水辺で活動できる服装
- ・申込み：はがき・電話・メール・直接資料館受付のいずれかで、参加者全員の住所・氏名・年齢・電話番号をご連絡ください。



【受付開始】10月21日(日)

※個人情報の取り扱いについては、個人情報保護法に基づき適正に取り扱います。

●問合せ先●

〒115-0042
東京都北区志茂5-41-1
荒川知水資料館 ワークショップ事務局
【TEL】03-3598-2134
【HP】http://www.ara.go.jp/amoa/
【メール】amoa-ws@ara.go.jp
【受付時間】10:00~16:00(月曜日を除く)
(月曜が祝日の場合は火曜休館)